



女子自衛消防隊が東京消防庁予防部長表彰を受賞しました！

自衛消防隊隊長 事務長 平山 信夫

11月11日（水）府中市立中央文化センターで火災予防業務協力者表彰式があり、当センターの女子自衛消防隊が、東京消防庁予防部長表彰を受賞しました。同隊は6月に行われた自衛消防訓練審査会で3位入賞を果たしましたが、このたび、「自衛消防の重要性を深く認識し、自衛消防体制の確立を図るとともに、積極的に訓練に励み災害の防止に寄与した」として、表彰されることとなりました。審査会に向けて、忙しい勤務の合間を縫って熱心に練習を重ねた努力が評価されたのだと思います。

今後も、防災意識の向上と火災予防の取組を、センター全体で進めていきたいと思っています。



女子自衛消防隊隊員 指導科 齋藤 優子

この度、東京消防庁予防部長表彰を受賞することができ、大変嬉しく思います。男子隊と協力しながら、練習に取り組んだ成果が受賞に結びついたと考えています。審査会当日は他消防隊の機敏な動きに圧倒され、緊張しましたが、練習に励んだメンバーの顔を見ると肩の力が抜け、練習通りに動くことが出来ました。

審査会出場にあたりまして、たくさんの方々に励ましの言葉を頂戴しました。そして何より各科・病棟の方々のご協力のおかげで、1か月半もの長期間、練習に集中することが出来ました。この場をお借りして感謝致します。ありがとうございました。

「肢体不自由児・者の美術展」 「肢体不自由児・者のデジタル写真展」特賞入



1-A病棟利用者の糟谷幸輝さんが、平成27年度「肢体不自由児・者のデジタル写真展」において厚生労働大臣賞を受賞されました。表彰式は12月16日（水）常陸宮殿下ご臨席のもとに東京芸術劇場にて行われました。入賞された作品は、コンピュータアート「風景 谷中の朝顔市（写メール）」で、これから1年間全国をまわり、センターに戻る予定です。皆さんもぜひ実物をご覧ください。





クリスマス会特



1-A病棟



保育士 柿田 恵美子

今年のクリスマスは「fufu」さんの演奏です。「フーフー」ではなく「フフ」だそうで、「夫婦」「ふふっ」「ふーっ!ふーっ!」といった意味だそうです。クリスマスソングやジブリ・ディズニーの曲を皆で一緒に手拍子をしたり歌ったりして盛り上がりました。また利用者の「ピアノ」「友達」「コココーラ」「ピキニ」といった好きな言葉を使った即興の曲も披露してくださり、大いにクリスマスの雰囲気を楽しみました。

と突然!なんとサンタさんが!良い子ではなく良いおじさんたちにもサンタさんは来てくれるんだね!ありがとう!サンタさん!また来年も来てね!

1-B病棟

保育士 宮本 満希

子

夢一途 ～柏木タカシ クリスマスコンサート～

演歌歌手の柏木タカシさんをお迎えしてのクリスマスコンサートを行いました。柏木さんが登場すると、その容姿、歌声にうっとり・・・柏木さんの粋な計らいで、デュエットあり、利用者一人ひとりと握手タイムありの、アットホームなコンサートとなりました。この日のために皆で最新曲の「夢一途」を練習し、最後は



2-A病棟

保育士 中島 千絵



2-A病棟では、利用者一人ひとりが主役になって参加する音楽劇「ブレーメンの音楽隊」を行いました。スクリーンに映し出される映像に合わせて、各々の楽器を使って音を出していきます。どろぼうが逃げる場面では、木琴をコロコロ打ち鳴らし、主人公達が考える時には、木魚をポクポク・・・、トライアングルでチーン!最後のハッピーエンドでは皆でクリスマスソングに合わせて楽器を鳴らしました。その後は父兄と職員によるトーンチャイムの演奏、お楽しみのケーキタイム、利用者全員による写真撮影。(服も揃え蝶ネクタイで正装しました。)最後は看護学生によるキャンドルサービス。賑やかで楽しい会になりました。

2-B病棟

保育士 内門 真理子

今年のクリスマス会は、「のぶさんと楽しくクリスマス」と題し、2部構成で実施しました。1部は「シャンソンを聴く会」とし、静かに耳をすまして聞いている様子の方、元気よく手拍子している方、体を揺らしてリズムを取っている方など、様々に楽しそうに聴いていました。2部は「皆で歌う会」で、クリスマスソングや童謡を手拍子や鈴を鳴らしにぎやかに歌い、病棟が1つになった気がしました。ご家族からも「とても楽しかった」とうれしい言葉をいただきました。



3-1 病棟

保育士 柴 江理子

12月10日に誕生会とクリスマス会を行いました。12月の誕生者お2人をお祝いした後、昨年に引き続き音楽ボランティアの「音種♪」を招待し、クリスマスコンサートを開催しました。コンサートの前半では、主治医のピアノと「音種♪」による演奏のコラボが行われました。「音種♪」のコンサートでは、クリスマスメドレーを中心に、沖縄の歌などが演奏されました。ピアノやギター、太鼓の他に、小鳥のさえずりの笛や波も音がでる楽器など、めずらしい楽器も加わりました。利用者の方は、普段聴き慣れない楽器の音色に不思議そうな表情を見せていました。他病棟の利用者の方や、ご家族の参加も多数あり、とても賑やかなクリスマス会になりました。

**3-2 病棟**

保育士 野村 幸子



3-2病棟の誕生会・クリスマス会が12月11日に行われました。今年は早々とあわてんぼうのサンタクロースが「コスモスベアーズ」という素敵な演奏者を引き連れて、やってきました。みなさん大喜びです。さっそくコスモスベアーズさんによるフルート演奏、♪ハッピーバースデーの歌でお祝いです。恒例の折り紙ドレスを誕生者と貼り、記念写真をパチリ！次はコンサートの始まりです。ワルツや聞きなれた曲が流れると、心地よいフルートの音色に、利用者のうっとりするような快い表情や笑顔が見られました。また、クリスマスメドレーや由紀

さおりメドレー演奏に懐かしそうに口ずさむご家族の声も聞こえてきました。ご家族や他病棟の利用者の方々も一緒に楽しいひとときを過ごす事ができ、コスモスベアーズさんとあわてんぼうのサンタさんに拍手を送りました。

4-1 病棟

保育士 永野 朋子

今年のクリスマス会はみんなで楽しもう！という始まりで、まずは手作りのプレゼントboxを制作しました。小さな箱の中には、みんなで参加できますようにと願いをこめ、その願いの通りに参加することが出来ました。

今回のクリスマス会は「見るだけ」でなく、「聞くだけ」でなく参加するもの。会の始まりはドレスやスーツでオシャレした写真のスライドショーをスクリーンに映しました。正装した姿に歓声が聞かれました。それから、「赤鼻のトナカイ」をハンドベルで演奏。歌を歌いながらベルを鳴らして、曲が仕上がりました。次は「てぶくろ」の読みきかせ。くじ引きのように選んだ団扇には、セリフが書かれており、ご家族の方の素敵な声で読み進める事ができました。利用者の方々には、映像に映る絵本を眺め、天井に浮かんだ手袋に、登場人物に模した風船が増えていく様子に目をやり、ハラハラ、ドキドキな楽しい時間が過ぎました。手作りのプレゼントboxは、サンタさんから一人お一人に手渡され、笑顔の時間になりました。

**4-2 病棟**

保育士 後藤 由美子



今年のクリスマス会は「みんなで作ろう！シンデレラ」と題し、4人の王子、3人の魔法使い、15人のシンデレラで、劇を行いました。家事の場面ではクイズを、変身場面では魔法使いとのやりとりを、舞踏会場面ではダンスとハンドベルを、さらにドクター王国から歌のプレゼント、最後は王子がくじ引きで最後のシンデレラを決め、二人は結婚！めでたし、めでたし。

盛りだくさんで、物語り同様時計を気にしながらの進行でしたが、利用者の方々表情と笑顔、ご家族や見に来てくださった皆様のご協力、賑やかな楽しいひとときを過ごす事ができました。

5-A病棟

保育士 上野 聡子



第1部は職員と利用者のハンドベルの演奏を行いました。少ない練習時間でしたが、皆さんの協力もあって楽しく「赤鼻のトナカイ」を演奏する事ができました。

第2部はセンター初出演の「杏ふるや」さんをお招きしてのピアノコンサートでした。杏さんに、事前に利用者の年齢、曲の好みを伝えておいたため、楽しくにぎやかなコンサートになりました。クリスマスソングに始まり、「手を叩きましょう」「上を向いて歩こう」等のおなじみソング。また、昨年流行った「アナと雪の女王」、民謡「ソーラン節」、唱歌「ふるさと」と誰もが口ずさめる曲がたくさんありました。飾らない杏さんの人柄に自然と手拍子、足踏みが鳴り渡りました。とっても楽しいクリスマス会になりました。

5-B病棟

保育士 山田 志津

子

5-B病棟のクリスマス会は『にこにこアンサンブル』の皆さんの歌と演奏会でした。まずはピアノ、フルート、オーボエ、バイオリン、チェロの演奏と素敵な歌声で、12月生まれの利用者のお祝いをしました。その後はクリスマスソング・アニメなど皆が知っている曲のオンパレードでした！『アナと雪の女王♪』ではサビの部分の手話を教えてもらい、利用者や家族の方も一緒に参加し楽しみました。たくさんのご家族や他病棟の利用者の参加もあり賑やかなクリスマス



通所

通所 中島 達也



12月17日(木)通所のクリスマス会が行われました。総勢23名の利用者のご家族が参加され盛況でした。今年のクリスマスのテーマは宇宙。4つの宇宙空間があり、仮装写真、ゲーム、クイズ、ライトセーバー工房と各ブースを利用者さんたちが楽しみました。その後は、バス運転手の平野さんのフルートと共に職員のトーンチャイムで「星に願いを」の演奏を聴いていただきました。午後は、シアターユニット・サラさんの観劇鑑賞をしました。クリスマスに関するミニレタの観劇に利用者さんたちもとても喜んで観ていました。

利用者、ご家族、職員共にとっても楽しめたクリスマス会でした。

認定看護師紹介

皮膚・排泄ケア 認定看護師 北島 直美

第2回 皮膚・排泄ケア

皮膚・排泄ケア認定看護師は、創傷Wound・ストーマOstomy・失禁Continenceのケアを行います。別名『おしりナース』『褥瘡ナース』と呼んでくれる方もいらっしゃいます!!

呼び名は何であれ、活動内容は変わりません！府中療育センターでは、身体変形や拘縮による皮膚の圧迫や摩擦で思いもよらない部位に褥瘡を発症します。より良いケアを提供するため、医師・看護師・保育士・ご家族などから利用者の状態に関して情報を頂きながら、ケア用品を活用し、一緒にケア方法を考えています。活動しながら日々感じることは、利用者の皮膚は繊細だということです。これからも、繊細な皮膚を持つ利用者に快適な生活を送っていただけるよう認定看護師活動に邁進します。みなさん、一緒に利用者の皮膚に潤いを届けましょう～!!

府中看護専門学校生からの
クリスマスメッセージ

12月18日(金)都立府中看護専門学校生たちが、歌とメッセージカードを届けてくれました！



〒183-8553
東京都府中市武蔵台2-9-2
東京都立府中療育センター
電話 042(323)5115
Fax 042(322)6207
<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html>